

※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。


情報提供用資料
2025年1月6日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 12/27-1/3)



	週間	月間	YTD
VN指数	-1.61%	-0.96%	-0.96%
VN30指数	-1.95%	-1.80%	-1.80%
VN中型株指数	-1.89%	-1.52%	-1.52%
VN小型株指数	-1.68%	-0.81%	-0.81%

年末年始を挟んだ先週のVN指数は1275.14ポイントから1254.59ポイントへと1.61%の反落となりました。年末にかけては米国株が下落したこともあり、利益確定の売りが優勢となりました。もっとも、2024年年間では12.1%の上昇と2年連続で12%台の上昇となっております。年明け最初の2日は0.2%高と上昇して始まりましたが、週末には米ドル高・ベトナムドン安圧力が残る中、反落し、週間でも下落に転じております。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-1.95%、中型株指数が-1.89%、小型株指数は-1.68%とそれぞれ反落しております。先週の東京外国為替市場は12月30日に年末の取引を終えました。ドル円相場は日米金利差が意識された一方、日本政府・日銀による円買いドル売りの為替介入が警戒され、一進一退の展開となりました。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	-0.03%	0.00%	0.00%

通過ベトナムドンが米ドルに対して弱含みとなり、ベトナムドンは円に対して-0.03%とわずかに反落となっております。ただ、2024年年間では6.32%の上昇となりました。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	-2.7%	素材	-1.1%
不動産	-0.8%	公益事業	-1.1%
生活必需品	-1.4%	エネルギー	-0.8%
一般消費財	-2.7%	情報技術	-0.4%
資本財	-1.7%	ヘルスケア	1.8%

セクター別に見ますと、ヘルスケアが+1.8%と反発いたしましたが、9セクターが下落いたしました。特に左上の金融が-2.7%、その3つ下の一般消費財が-2.7%と、それぞれ大きく反落しております。

銘柄名[ティッcker]	騰落率
ベカメックス（不動産） [BCM]	+1.0%
ビンコム・リテール（不動産） [VRE]	+0.3%

銘柄名[ティッcker]	騰落率
バオ・ベト・ホールディングス（金融） [BVH]	▲4.9%
SSI証券（金融） [SSI]	▲4.7%
モバイルワールド（一般消費財） [MWG]	▲4.6%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、上昇銘柄は2銘柄にとどまりました。工業団地開発大手のベカメックスが+1.0%、商業施設の開発・運営を手掛けるビンコム・リテールが+0.3%と、それぞれ上昇を続けております。一方、下落銘柄は、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが-4.9%、SSI証券が-4.7%、家電量販店大手のモバイルワールドが-4.6%と、それぞれ反落しております。

VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は米国株が下落基調となる中、反落となりましたが、昨年10～12月期のベトナムの実質国内総生産は前年同期比7.55%増へと加速するなど、経済は拡大を続けております。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上